

# しょうぶっ子

## 寒く長い1学期でした

先週の授業参観には多数のご出席をいただき誠にありがとうございました。

長かった二学期もあと一週間余りで終わります。教育活動すべてにおいて実り多い二学期でした。学習発表会等の学校行事や日常の学習では、みんな生き生きと活動して能力を発揮しました。校外的にも各種大会、各種コンクール等、たくさんの子どもの入賞、入選がありました。全校集会で賞状を受け取る顔は、どの子どもも輝いて自信と喜びに満ちています。この輝きを次の教育活動につなげていきたいと思っています。

また、参観日にもご紹介しましたが、地域の方から子どもへの優しい行いに感激したという電話をいただいたり、町の社会福祉大会で福祉講座を体験した子どもの作文が最優秀賞に選ばれたり、心の面でも大きく成長した学期だったと思います。



福祉作文を発表する さん

のご協力があったてのことと感謝申し上げます。本当にありがとうございました。年末を迎え、何かとせわしなくなる頃ですが、学習のまとめ時期、担任を中心に教職員全員で、子どもたち個々の力をさらに伸ばせるよう努力致します。ご家庭でのご支援、ご協力よろしくお願い致します。もうすぐ冬休みに入ります。どうぞ親子で取り組む行事や仕事（お手伝い）等を通して家族の絆をより深めていただきたいと思います。

- 教育目標**
- ・進んで学習する子
  - ・思いやりのある子
  - ・心身をきたえる子

さて、年の瀬のご挨拶には少し早いです。今年は大変お世話になりました。来年（巳年）が皆様にとってさらに良い年になりますようお祈り致します。（校長・木村）

### 福祉講座を通して考える 四年

菖蒲川小学校では三年生と四年生が『総合的な学習の時間』に鶴田町社会福祉協議会主催の福祉講座に参加し、福祉に関することを学んでいます。私たち四年生が今まで参加したものは、「手話」や「点字」そして「車いす体験」や「高齢者ぎじ体験」などがあります。また、地域の方とグループを楽しむ講座もありまし

た。私は、それらを通して考えたことがたくさんあるので紹介しました。

一つ目は、「車いす体験」で気づき考えたことがあります。車いすで段差のある所を体験するためマットに上がりました。その時にいすがななめになってしまい、ものすごくこわい思いをしました。私はこのことから（車いすに乗っている人はものすごくこわい思いをしているんだな。）と分かりました。それに、自由に動くことができなくて不便だろうと思いましたが、だから車いすを利用して人が困っていたら、不便がなくなるように助けてあげようと車いすの介助のコツを考えました。

介助のコツ一つ目は、「スタートしますよ。」というように声をかけてあげることです。

二つ目のコツは、安全に気をつけて押してあげることです。そのため、ゆっくりと丁寧に支えてあげることが必要です。

学んだり体験したりしたことをもとに私の考えをまとめてみました。

それは、だれにどんなサポートをするかは、介助が必要なのかどうかを考えて実行すること、相手の人のことをよく分かってあげて相手の立場になってサポートをしていこうと思つたことです。

そして、これからはもっともつとだれもが不便なく暮らせるように助けてあげたり、やさしくゆっくりとあせらないで介助などをしあげて、一人でも多くの人に不便をなくしてあげたり幸せにしてあげたりしたいと思いました。

## 主な行事予定

- 1 (火) ■ 元日
- 2 (水) ■ 年始休業
- 3 (木) ■
- 14 (月) ■ 成人の日
- 15 (火) ■ 三学期始業式  
安全点検
- 16 (水) ■ 教育課程編成会議
- 17 (木) ■ 冬の下校指導
- 18 (金) ■ 身体測定 委員会
- 19 (土) ■ 休業日
- 20 (日) ■ 休業日
- 21 (月) ■ スキー教室①  
(富士見スキー場)
- 22 (火)
- 23 (水)
- 24 (木) ■ スキー教室②  
(ナクア白神スキー場)
- 25 (金) ■ 教育課程編成会議